



学校だより 青い鳥

平成30年度3月号
さいたま市立上落合小学校
平成31年3月1日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381
http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/ E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



春に

校長 藤澤 太郎

年明け早々に紅梅が開花し、やはり暖かい冬になったのか？と自分の身体に聞いてみたところ。そう言えば、気のはやい桜の蕾が膨らんできた感じが春への期待と重なりますね。

今年度の本校の教育活動に対しまして、ご家庭・地域の皆様をはじめ、関係諸氏からご支援・ご協力をいただきましたことに御礼を申し上げます。特に後援会・PTAの皆様には、諸行事への全面的な協力をいただきました。おかげさまで、子どもたちが生き生きと笑顔で活動することができました。ありがとうございました。

6年生の皆さん ご卒業おめでとうございます。この学年とは3年間を共に過ごすことができました。子どもらしく、そして活発な様子が印象的で、このことは卒業期を迎えた今も変わらぬ良いところだと思っています。この学年の今年度一年を振り返りますと、大きなところでは、春の運動会そして秋の修学旅行、校内音楽会という大きな行事を、最上級学年として立派に成功に導くことができました。そして、一つひとつの行事に対しては、自分たちの考えを反映させることができました。また、日常の授業や生活場面では、何より、学校として学年としてクラスとして班としての考え方が良く整理されていましたので、目的に応じて無駄のない活動が実行され、何事にも心から楽しむことができたというふうに思っています。さらに、立ち居振る舞いについては、上落合小のもつソフトな人あたりと、相手に対する思いやりが感じられる対応に感心するばかりです。なんだか少し褒めすぎたようですが、中学校に進学したら、自分の本当の力が分かりますし、是非、この上落合小で学んだこと身に付けたことを実践してほしいと期待しています。6年間本当によくがんばりました。

ところで、三月は大人も子どもも心がゆれる月です。誰でも、大なり小なり親しくしてきた者との分かれ(道)に立ち会うこととなり、そして、自身の環境の変化が予感される月であるからです。それは、人として大切に接してきた誰かと別に生活をするとするよりは、一緒に共有してきた楽しい時間を、この先ももっと過ごしたいと思う気持ちでしょうし、せっかく慣れ親しんだ今の環境に対して、「次の課題を見つけたからそれを実践したい！」という純粋な気持ちがあるからだと考えます。また、三月はこうした複雑な気持ちに対して、ゆっくりと感傷に浸る余裕などありませんし、諸々の事柄に対しての気持ちの整理がつかないうちに、次の新しい世界に向けて確実に時間が流れていってしまいます。時を同じくして桜が開花し、一層この気持ちを盛り上げて？くれているような気もしますが、皆様はいかがでしょう。

「この気持ちは何だろう？」と毎年思います。人の感性はそれぞれですけれど、例えば先生方も人の子です。「子どもたちと一緒に自分も卒業したい！」と心底思っている人もいれば、卒業生の将来の成長した姿を想像してワクワクしている人もいます。しかし、詩人が言うように、「春」のエネルギーは偉大であり、3月後半を経て4月になった途端に、誰もがシャキッと前を向いて歩き出すのも事実です。何か、自分専用の列車に乗り遅れないようにと、気が急くのを抑えながら、期待に胸を膨らませ、希望に向かってその列車に乗り込もうとするわけです。

卒業生の皆さんは、自分の卒業をどう感じているのでしょうか？現在成長過程にある皆さんは、大人よりももっとたくさん複雑なことを感じているのかもしれませんが、今の思いや願いを大切にしてほしい、とはあまりに簡単な一言です。ある日、大人になって「あの時は、」と思い返した時に、卒業した時の本当の気持ちが分かるのかもしれませんがね。

まずは前進して、行った先の仲間と、心の通い合う楽しい学校生活が送れるようにと願っています。

学校教育目標

あかるく

なかよく

たくましく